



徳田さん



藤野さん



プレーに「ありがとう」の力を
患者さんとの関わり合いで、ブレス浜松は進化する

【ブレス浜松】2012年、一般社団法人「ブレス浜松バレーボールクラブ」として誕生した新しいスタイルの女子バレーボールクラブ。「浜松に住み、浜松で働き、浜松でバレーボールの頂点を目指す」をモットーに、女子Vリーグ(バレーボールリーグ)昇格・優勝を目指している。選手・スタッフの職場提供などをサポートしているのは、浜松東病院、介護老人保健施設八幡の森、専門学校 浜松医療学院を展開する「森島学園グループ」。http://www.breath-hamamatsu.com/



キャプテン #15 藤野英恵(ふじのはなえ)
コートネーム:タエ
東京都町田市出身
1989年9月28日生まれ/B型
浜松東病院勤務
趣味:映画鑑賞

藤野 ◆病院や施設にはブレス浜松のポスターを貼ってあって、そこに私たちの写真が載っているんですね。それで、わかる方は「これあなたでしょ? バレーボールやってるの?」って。そうやって段々と認知度が上がってくれば、私たちのパワーになるし、仕事の熱心度も変わってきます。ありがとうの数だけ、

地域社会への貢献が、 Vリーグ昇格につながる

徳田 ◆大阪の実業団チームをやめた時は「もうバレーボールやめようかな」と考えましたが、浜松に誘ってもらえてラッキーだったなと思っています。介護の仕事は大変だけど、いろいろな人と関わることができて、「ありがとう」と言ってもらえることは毎日のパワーにつながっていますね。
藤野 ◆東京にいる親からは「そういう仕事をしてくるなら、私たちの老後も安心だ」と言われるし(笑)。

働いてわかった 「ありがとう」のパワー

藤野 ◆看護助手の仕事に就いたきっかけは「バレーボールをやるため」ですが、私はもともとそういう仕事に興味があったんです。病院勤務して、たまに夜勤もあって、バレーの練習は週5日。肉体的にも精神的にも大変なのは確かですが、慣れてくると不思議ととても充実した日々が変わっています。最近では介護資格を取るための勉強もはじめました。ブレス浜松の環境のおかげで、バレー筋だった私でも介護という仕事への意識が高まってきました。

徳田 ◆私もバレーボールをしながらケアワーカーとして働いています。まだ半年なのでいろいろ覚えることが多くて大変ですが、とてもやりがいのある仕事だと思えますね。浜松の人って、みんなやさしくて温かくて、いつも助けられています。そんな環境の中で、介護というすばらしい仕事と大好きなバレーボールをできるということは幸せですね。

藤野 ◆患者さんから「ありがとう」と言われると心の底からうれいんですよ。一度、患者さんのご家族から直接私にお声がかかって「何だろう?」と行ってみたら、「いつも本当によくしてくれてありがとうございます」と言われて、私も感激しちやいました。

ブレス浜松を応援してくれる人が増えるということですから。

徳田 ◆施設職員の先輩からはよく「何よりも第に患者さんのことを考えて行動しなさい」と言われます。これってバレーボールも同じことだと思っんです。お互いがお互いのことを考え、支え合いながらプレーする。それが最高のチームプレーにつながります。ケアワーカーの仕事で得られる知識や経験をどんどん吸収して、バレーにも活かしていきたいですね。そうすればブレス浜松はもっと強くなれると信じています。



#7 徳田亜留美(とくだあるみ)
コートネーム:アル
三重県鈴鹿市出身
1995年1月22日生まれ/O型
介護老人保健施設八幡の森勤務
趣味:ショッピング

藤野 ◆私たち、ブレス浜松の目標は、2017年にVプレミアリーグに昇格すること。達成するために、日々の練習はもちろん、私たちが支えてくれている医療・介護の仕事にも全力を注いでいかなければダメだと思っんです。それが私たちを支えてくれる浜松への恩返しになるし、地域社会への貢献にもつながっていくはずですから。みなさんぜひ、ブレス浜松へのご支援、ご声援をよろしくお願いします!

